

# SUMMER SCHOOL 報告書

～中国語講座と元培科技大学学生の日常の交流について～

R12-040 田中祐衣

この10日間のサマースクールを通して、私自身多くのことを学び、貴重な体験をした。その中でも主に、中国語講座と学生との日常交流に重点をおいた。

まず、中国語講座については、事前に少し予習をしていたこともあり、より一層理解しやすかった。また、教えてくださる先生方のほとんどが日本語を話せる方だったので、言語には苦勞することなく講義に集中して受講することが出来た。それに、元培大学の学生達も私たちと一緒に講義を受け、講義中はずっとそばについていてくれた。なので、分からない時は、すぐに聞くことができ、いろいろと教えてもらえたので、すごく助かった。



また、講義の中で習った中国語を使って、実際に旗揚げゲームもした。紅色と黄色の発音がとても似ていたのので、聞き分けるのに苦勞した。しかし、口頭で聞く講義と比べ体を使って行った旗揚げゲームのほうがゲーム感覚で楽しく中国語を覚えられた。

元培科技大学の学生との交流については1グループに3人の台湾の学生さんがついてくれて行動するというかたちだった。台湾の学生スタッフは、二カ国語を話せる方が多かったので、言葉の壁というものは、あまり感じなかった。しかし、中には中国語しか話せない方もおられたので、コミュニケーションをとる際に少し苦勞した。ジェスチャーなどを用いてもなかなか通じない場合もあったが、メモ帳を使って、絵を描いたり、自分達が知っている漢字を使ったりすると伝わりやすかった。また、私達のグループについてくれていた台湾の学生スタッフの中に日本語がとても上手に話せる方がおられたので、なかなか通じなくて困っている時は、通訳として間にはいってくれたおかげで、コミュニケーションがとりやすかった。

それに、台湾の学生は、日本語を勉強したいと思っている人が多く、簡単な日本語での会話も行うことが出来た。また、私達日本の学生の中に誕生日の人がいると、ホテルの一室を貸し切って誕生日パーティーを開いてくれたり、夜はいろいろな所に連れていってもらったりと、



とても気遣ってもらった。台湾の学生スタッフ達は、とても親切で良い人ばかりだった。台湾で一番困ったことは、買い物の時である。言葉が通じないことや、全て中国語で書かれているメニューが読めないためどのような種類があるのか分からず、注文するのにとても手間取った。しかし、台湾の学生スタッフが気にかけてくれ、私達の代わりに注文してくれたので、すごく助かった。

私自身、外国に行くのは初めてだったので、台湾の学生とコミュニケーションがとれるかなど不安なこともたくさんあったが、親切な学生さんがたくさんいてくれたおかげで、この10日間のサマースクールで充実した時間を過ごすことができた。

このような企画に参加でき、とても良い経験ができたのでよかったと思う。

